

## 授業力を高める入力と出力 教師としての振り幅を広げる

連載⑦

大阪教育サークルはやし 荒井 賢一

まずは逆の主張から始めよ

道徳の授業で陥りやすいことがある。

それは、教師が正しいと思うことをいくつもいくつも事例を挙げて主張し続けるパターンでの授業をしてしまうことである。

例えば、いじめの授業。

いじめによって、虐げられてきた例を挙げ、いじめが人間の脳の根幹を傷つけ、いじめた側も大変なことになる、というようなことを次から次へと主張していく。

確かに、いじめはゆるされないことではあるが、一方の主張だけを強調された授業には、浅く、そして弱さがある。

脳科学者の中野信子氏は『ヒトは「いじめ」をやめられない』（小学館）の中で、「ヒトにとっていじめという行為は、種を保存するための本能に組み込まれている」ということを書いています。

そこで、いじめはヒトの本能であるということをまず取り上げ、けれども、いじめ

によって苦しむ人がいることを伝え、その

いじめの回避術を身につけることで、ヒトは本能に打ち勝ち、ヒトから人になると気付かせる。

主張したいことがあるならば、まずはその主張したいことの逆を取り上げ、それから、逆の主張を打ち破るような主張をするのである。

振り幅を大きくすることで、授業に広がりとし深みを生み、子どもたちにも届くのだ。

**物事の両面に目を向けよう**

今回の授業プランでは、流水とオオカミをほぼ同じ展開で取り上げている。

どちらの対象も、「くがなくて困ること」を扱う前に、「くがあつて困ること」を扱っている。これも振り幅のある授業といえるだろう。

漁師にとって流水が出ると魚ができない。しかし、流水によって、北海の乱獲が

守られている面もあるのである。

オオカミは、草食動物を食べる。でも、そのことで、草食動物である猪や鹿から農作物の被害を減るのである。

**中学国語の説明文からの学ぼう**

今回の授業プランは、流水もオオカミも、中学一年の国語教科書の説明文を論拠として、組み立てている。

青田昌秋「流水と私たちの暮らし」は、中学一年の国語（光村）に載っている。

高橋成紀「オオカミを見る目」も、中学一年の国語（東書）に載っている。

中学国語教科書の自然科学や社会科学の説明文は、特に読み応えがあり学びが多い。六年生相手に、この授業をすることで、中学校で学習することへの期待を高めることが、きっとできるだろう。

「このように、人の考えや行いは、置かれた社会の状況によって異なりもするし、また変化もし得るのだ」ということを、心に留めておいてください。」

「オオカミを見る目」の最終段落の主張は、授業をする上で心がけていきたい。

## 授業プラン 「流水とオオカミの存在意義」

(流水を隠した画像を提示)

「海に何かあります。何だろう?」

・ 船。 ・ 津波。 ・ 流水。

(流水の画像を提示) 【板書】 流水

「寒い所から凍った海水が風や波で砕かれて流れてきた氷の塊が流水です。」

【板書】 一九一二年四月一二日深夜

「何が起こったと思いますか。」

・ 地震。 ・ 流水が流れてきた。

「タイタニックという豪華客船が流水にぶつかり沈没し、一五〇〇名以上の人が犠牲にあいました。映画にもなりました。」

(映画の画像を提示)

「では、流水は日本まで流れてくるのでしょうか。」 ・ 北海道に流れてくる。

(流水サイトを提示) 「北のオホーツク海から流水が流れてきます。」

【板書】 流水がなくなると困る動物は?

「流水がなくなると困る動物は何でしょうか。」 ・ ペンギン。

「小学生新聞のコラムです。」

【板書】 ホッキョクグマが ( )

「どんな言葉が入ると思いますか。」

・ かわいい。 ・ 危険。

(「ホッキョクグマが危ない」を読む。)

「地球温暖化が進むと、気温も海水の温度も上がります。例えば北極では、温暖化によって海の水が少なくなっています。水の上でかりをするホッキョクグマも、100年以内に絶滅つしてしま

う可能性があると考えられています。」

「流水がなくなると困る動物は他にはないでしょうか。」

【板書】 「流水と私たちの暮らし」

「中一 国語教科書にある説明文です。」

(流水が 大気や海洋の循環を生み出していることなどを話す。)

【板書】 流水：太陽の反射板・海の下・

潜熱効果 ↓ 大気の循環

塩分をはき出す (深層水) ↓ 海洋の循環  
プランクトンを育てる ↓ 魚たちのエサ

「流水がなくなると困る動物は何ですか。」

・ 魚。 ・ 人間。 ・ 地球上の生き物。

(ベッドのオオカミを隠して提示。)

「ベッドに寝ているのは、誰だろう?」

・ おばあちゃん。 ・ おおかみ。

(狼の画像を提示) 【板書】 オオカミ

「オオカミがいなくなると喜ぶ動物は?」

・ ブタ。 ・ 羊。 ・ いのしし。

「オオカミがいなくなると困る動物は何でしょうか。」 ・ オオカミ。

【板書】 「オオカミを見る目」

「中一の国語教科書にある説明文です。」

(ヨーロッパでは羊を食べるオオカミが忌み嫌われ、稲作中心の日本では猪や鹿を食べてくれるオオカミを敬っていたことなどを話す。)

【板書】 ヨーロッパ：羊 ↑ オオカミ || 悪魔

昔の日本：稲 ↑ 猪・鹿 ↑ オオカミ || 大神  
「現在、日本のオオカミは絶滅しています。」

そのため、猪や鹿が増えすぎ、農作物に多くの被害があるそうです。」

「オオカミがいなくなると困る動物は何でしたか。」 ・ 農家の人。

【板書】 ( ) がなくなると困ること

・ 森林。 ・ 空気。 など

【板書】 ( ) があると困ること

「なくなると困ることを言いたい時は、それがあると困ることから話し出す方が、本当に言いたいことが強調できます。」